

■機械システム研究会 第1回 例会 報告

日時：2025年11月15日(土)12:30～19:00

場所：YKK センターパーク、YKK50 ビル

出席者：阿部治彦、佐藤豊、立山隆志、中垣勝敬、若林尚貴、荒城昌弘、金山和弘、寺田宏之、金子義幸、山道哲雄、島田雅隆、出口誠仁、笛木学、横田善弘、岩堀圭吾、齊藤真琴、(新潟2名、富山5名、石川7名、福井2名 計16名)

内容：

1. はじめに

YKK 株式会社様のセンターパークにてファスナーや窓の展示物を見学した。後半は会議室にて同会の活動説明と、技術士間の意見交換・座談会を行った。

2. 見学会

・センターパーク内1号館にて

ファスナーや窓の仕組みと歴史、創業者・吉田忠雄氏の経営理念や人生についての展示があり、YKKの正会員の方々から丁寧な説明があった。



YKK 中垣氏によるファスナーの説明



YKK AP 金山氏による窓建材の説明

・センターパーク内2号館にて

創業当初のファスナーのカシメ機(実機)や、ファスナー、窓枠建材の開発の経緯が年表形式で展示されており、設備の開発から一貫してモノづくりにこだわっているYKKの考え方を感ずることができた。

3. 北陸本部 機械システム研究会活動紹介

・YKK50ビル内会議室にて

金子、阿部両氏の共同代表より、2024年1月から現在までの同会の活動内容の報告があった。また、2026年に予定されている石川での全国大会併設機械部会

について、内容の基本的なコンセプトの説明があった。

4. 意見交換・座談会

「技術士資格の社内活用と人材育成」をテーマに、意見交換会を実施した。主な内容は以下のとおり。

- ①技術士資格を活かした社内教育・OJT・人材育成
- ②技術士資格取得を支援する仕組み(組織的な奨励策・待遇など)
- ③技術士資格が実務でどう役立ったか、技術士になって良かったこと



意見交換会の様子

笛木氏がファシリテーターとなり、出席者全員の考えを汲み上げる形で意見交換が行われた。挙げた意見は以下のようなものがあった。

- ・社内に技術士試験の受験料の補助や合格時の報奨金制度がある。
- ・人事考課的な面、待遇面のメリットは特にない。
- ・社会的な認知度が低い。(建設部門以外)
- ・他士業の方と連携を深めることが認知度UPにつながるのではないか。
- ・人材教育には若い人にワクワクするような課題を見つけることが必要。
- ・技術士の資格が実務で役に立ったことは少ない。
- ・技術士の資格を持っていることが一定レベルの努力ができる人として自分の中で納得ができる。
- ・技術士として名に恥じないための努力につながる。
- ・自分の技術にプライドを持っている。



参加者の集合写真

5. おわりに

今回、北陸本部機械システム研究会の第1回例会として、YKKの方々の協力を得て無事開催することができた。今後は全国大会石川開催に向けて、本会の結束を固めていきたい。(石川 齊藤真琴)